

## ● 「宮城高校生マナーアップフォーラム」



11月5日（水）に、「みやぎ高校生マナーアップフォーラム2025」が県庁で行われ、生徒会役員のI.Sさん（2年）が参加しました。県内高校から代表生徒約100名が一堂に会し、講演・ワークショップをとおして他者理解などについて学びました。

当日は「公共空間における無意識なマナー違反に、やさしく気づきを届けること」をテーマに、東北芸術工科大学の学生からの講演を聴いた後、「ちょっと気にしたいマナーを探るワークショップ」をテーマとしたワークショップを行いました。他校の生徒やたくさんの大人たちとの関わりながら、貴重な学びの機会となりました。

## ●図書委員が市民図書館を訪問 「本の福袋」を作成しました



11月26日（水）に、図書委員10名が仙台市民図書館（せんだいメディアテーク）を訪問しました。施設見学では、普段立ち入ることができない書庫や、返却ボックス、バックヤードを見ることができました。そして、仙台市民図書館と南高図書委員会のコラボ活動として、小学生を対象とした「本の福袋」を作成しました。毎年人気の企画となっており、生徒たちはテーマを考えながら真剣に選書を行いました。

←毎年好評の「南高図書委員会セレクション・本の福袋」  
(せんだいメディアテーク、2024年1月)

## ●3年保護者対象説明会を開催

11月20日（木）定期考查期間の午後に、3年生の保護者・保証人を対象とした進路説明会を実施しました。

この日は、約200名の保護者・保証人が参加し、本校の進路指導部長より今年度の入試スケジュールや併願校の考え方、入試本番までの過ごし方などについて説明をしました。参加した方々は真剣に耳を傾け、説明会終了後に多くの方が個別に相談するなど、たいへん有意義な会となりました。



## ● 「仙台三高イノベーションフェスタ」 本校2年生がポスター発表

11月6日（木）に行われた仙台三高のイノベーションフェスタでは、2学年から3つの班が参加し、ポスター発表を行いました。

当日は仙台三高の生徒だけでなく、県内県外の他校の生徒も多く参加していました。発表内容に関して受けた質問は基本的な内容から発展的なものまで多岐にわたり、参加生徒は自分の研究をより多角的な視点から深める契機になったようです。またプレゼンテーションの仕方や、発表に対する質問の仕方などについても学ぶことができ、大いに刺激を受けた様子でした。「今度発表を聞くときは、積極的に質問したい」と思ったという声もあがりました。



## ● 歌手の大島花子さん（坂本九さん長女）来校 合唱部と「心の瞳」の演奏を通じて交流

～日航ジャンボ機墜落事故から40年 命の大切さ、日常の大切さを音楽で語り合う～

10月28日（火）、坂本九さんの長女で歌手の大島花子さんが来校されました。大島さんは、全国各地の中高生と音楽の交流を通して、命の尊さや日常の大切さを伝える活動をされています。

坂本九さんが事故で亡くなつてから今年で40年目、大島さんは、本校音楽室で合唱部の部員たちとともに坂本九さんの遺作「心の瞳」を演奏しました。歌詞に込められた意味、当たり前の日常の大切さをかみしめながら、大島さんのあたたかな歌声と合唱部員の歌声が重なりました。

この日の様子はtbcのテレビ放送や河北新報のオンライン記事でも紹介され、命の大切さや日常のかけがえのなさを音楽で語り合う、たいへん貴重で尊い時間となりました。

